

本稿を執筆している2021年2月の約1年前、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)のため、教育・研究活動や業務に対する様々な制限に困惑し、慌ただしさの中で新年度を迎えました。この1年で皆様も新しい生活様式を模索されたことと思いますが、私も新しい生活様式の良い面に目を向けて、オンライン形式での授業や研究などを行っています。現在では、1年前とは比較にならないほど、この生活様式にポジティブな感想を持っています。例えば、デジタルネイティブ世代の昨今の学生にとっては、オンライン授業で活用するチャットやアンケート機能などは馴染みやすく、通常の対面形式よりも多くの学生が質問しやすく感じているようです。研究室での実験などの研究活動はこれまでのように進めることはできませんでしたが、オンライン形式を有効活用し、効率良く指導・連携ができるようになったと感じています。個人的には、自宅で過ごす時間が増え、これまで以上に家族との時間を楽しむことができました。また、前回の日本化学会第100春季年会はCOVID-19への対応として中止になりましたが、第10回CSJ化学フェスタ2020は10月

にオンラインで開催され、来たる第101春季年会もオンラインで開催されます。この1年で講演会や講習会などの行事はオンラインという新しい形式に変化しつつあります。皆様も感じられているように、オンライン形式は、国内外関係なく行事に参加でき、より多くの分野の研究者と情報交換することができます。以上のように、はじめは窮屈な新しい生活様式でしたが、これらのメリットを勘案すると、生活様式の変遷期を迎えているのかもしれないと感じています。

さて、COVID-19が世界的な問題になってから1年程度で新しい生活様式を確立し、また、これまでの予想を覆すスピードで開発されたワクチンの接種が全世界で始まったことに、私は驚嘆し、人類の底力を垣間見ました。過去に人類が実現した生活の質の向上や克服した病気と同様に、この1年の生活の革新を支えたのは紛れもなく科学技術です。その科学技術の基盤の一端を担う「化学」と「工業」のさらなる発展、さらには次世代の科学技術を担う人材の育成に一層努めていきたいと思っています。

(岡本敏宏)

カラー写真ご提供のお願い

化工誌編集委員会

本誌の目次や編集後記下に掲載するカラー写真を広く会員の皆様からのご投稿をお願いしています。ご投稿いただいた写真は編集委員会で適宜選択して使わせていただければと考えています。ご投稿の際にはごく簡単な説明をつけていただき、電子ファイルの場合には高解像度のもの(300DPI以上)をお送り下さい。

以下のような写真のご提供をお待ちしています。

1. 季節感のあふれた風景・草花・野鳥・動物の写真など
2. 化学に関する写真—カラフルな物質、化学模型、電顕写真、実験機器、化学プラントなど

送付・問合せ先：101-8307 東京都千代田区神田駿河台 1-5
日本化学会 学術情報部 「化学と工業」誌担当
電話(03)3292-6165 FAX(03)3292-6319
E-mail: kakoshi@chemistry.or.jp



カジノキ (新宿御苑) 浅野 努

[外国人人名のカタカナ表記について]

本誌74巻(2021)3月号「2020年度日本化学会 表彰」p.193 左段 下から13行目の「マリー・スクドロフスカ・キュリー博物館」の発音に近いカタカナ表記は「マリー・スクウォドフスカ・キュリー博物館」となります。